【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和2年12月3日(2020.12.3)

【公表番号】特表2019-535260(P2019-535260A)
【公表日】令和1年12月12日(2019.12.12)
【年通号数】公開・登録公報2019-050
【出願番号】特願2019-524334(P2019-524334)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　1/02　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　1/16　(2006.01)
Ｃ１２Ｍ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　1/02
Ｃ０７Ｋ　1/16
Ｃ１２Ｍ　1/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和2年10月20日(2020.10.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
流体流中の少なくとも１種の混入物の濃度をモニターする方法であって、
・少なくとも２つの単位操作を設ける工程と、
・流体流を供給し、流路において前記流体流に前記少なくとも２つの単位操作を通過させる工程と、
・所定の有効な方法で前記流体流から試料サンプリングする工程と、
・前記流体流中の混入物濃度をモニターするために試料中の混入物濃度を決定する工程とを含み、
連続的で、密閉式の、病原体を低減した条件で実施される、方法。
【請求項２】
前記少なくとも１種の混入物は、微生物混入物および／または有毒混入物であり、
・前記方法は、前記少なくとも２つの単位操作を分離する、孔径が０．０５～２μｍの少なくとも１つのフィルターを設けることをさらに含み、
・前記流体流は、１つの単位操作から第２の単位操作へ流れる際に、孔径が０．０５～２μｍの前記フィルターを通り、
・所定の有効な方法で前記流体流から試料サンプリングすることは、孔径が０．０５～２μｍの前記フィルターを前記流体流が通る直前に前記流体流から試料サンプリングすることによってなされる、
請求項１に記載の方法。
【請求項３】
所定の有効な方法で前記流体流から試料サンプリングすることは、前記第１および／または前記第２の単位操作に関連した所定の時点で前記流体流から試料サンプリングすること、および／または前記流体流の或る特性が所定の閾値に達したときに前記流体流から試料サンプリングすることによってなされる、請求項１または２に記載の方法。